

環境報告書

2023年度版



シチズン時計マニュファクチャリング株式会社 東北工場

環境報告書 目次

1、会社概要	2
2、環境基本方針	3
3、環境管理体制	4
4、環境目標	5
5、地球温暖化ガス排出実績	6
6、工業用水使用量及び排水量実績	7
7、廃棄物削減活動	8
8、土壌汚染概要と対策	9～11

1. 会社概要

社名	シチズン時計マニュファクチャリング株式会社
設立	2013年7月1日
所在地	〒359-8511 埼玉県所沢市大字下富840番地
代表者	代表取締役社長 三輪 克弘
資本金	1億円
従業員数	2,073名（2024年4月現在）
事業内容	各種時計類及びその部品製造

【東北工場】

工場長 川手 芳成

所在地

【東北北上工場】

〒024-0002 岩手県北上市北工業団地2-25

【東北北上南工場】

〒024-0051 岩手県北上市相去町平林14-14

【東北相馬工場】

〒979-2611 福島県相馬郡新地町駒ヶ嶺字ソノ畑11-1

【東北西和賀工場】

〒029-5616 岩手県和賀郡西和賀町沢内字泉沢29-2-31

従業員数

342名（2024年4月現在）

東北工場	男性	女性	合計
北上	154人	73人	227人
北上南	23人	0人	23人
相馬	16人	21人	37人
西和賀	36人	19人	55人
合計	229人	113人	342人

事業内容

腕時計用金属地板及び受け(エボークシ部品)製造
腕時計用外装部品 ケース・針製造
高精度金型の設計・生産及びプレス加工
表面処理加工

2. 環境基本方針

環境基本方針

「愛され市民に貢献する」という企業理念に基づき、世界の人々と地球環境に配慮した事業活動を通じて、心豊かに安心して暮らせる持続可能な市民社会に貢献します。

環境行動指針

- 1) 製品・サービスのライフサイクル全体における環境負荷の低減に取り組み、環境配慮型製品の開発・提供を通じて「環境に配慮したものづくり」を推進し、地球環境保全に努めます。
- 2) 環境に関わる法令、条例、規制、協定その他の要求事項を順守します。
- 3) 事業活動における温室効果ガスの削減や省エネルギー化を推進することで、気候変動の緩和と気候変動への適応を図ります。
- 4) 省資源、廃棄物削減、水資源の保全など持続可能な資源の利用に努めます。
- 5) 製品に含まれる化学物質や、事業所における化学物質管理を強化し、汚染の防止に努めます。
- 6) 地域社会における環境保全活動や生物多様性および生態系の保護活動への参加などを通じて、社会とのコミュニケーションを深め一層の調和を図ります。
- 7) 環境教育や啓発を通じ従業員の環境意識の向上を図るとともに、環境に関する取り組みの情報開示を積極的に行い、社会に対する説明責任を果たしていきます。

シチズン時計マニュファクチャリング株式会社は、この環境方針に沿って環境目標を設定し、調達先や供給先などの取引先と協力して、実行、評価し、継続的改善に努めます。この環境方針は、社外に公開されるとともに、全従業員および共に働く人々に周知されます。

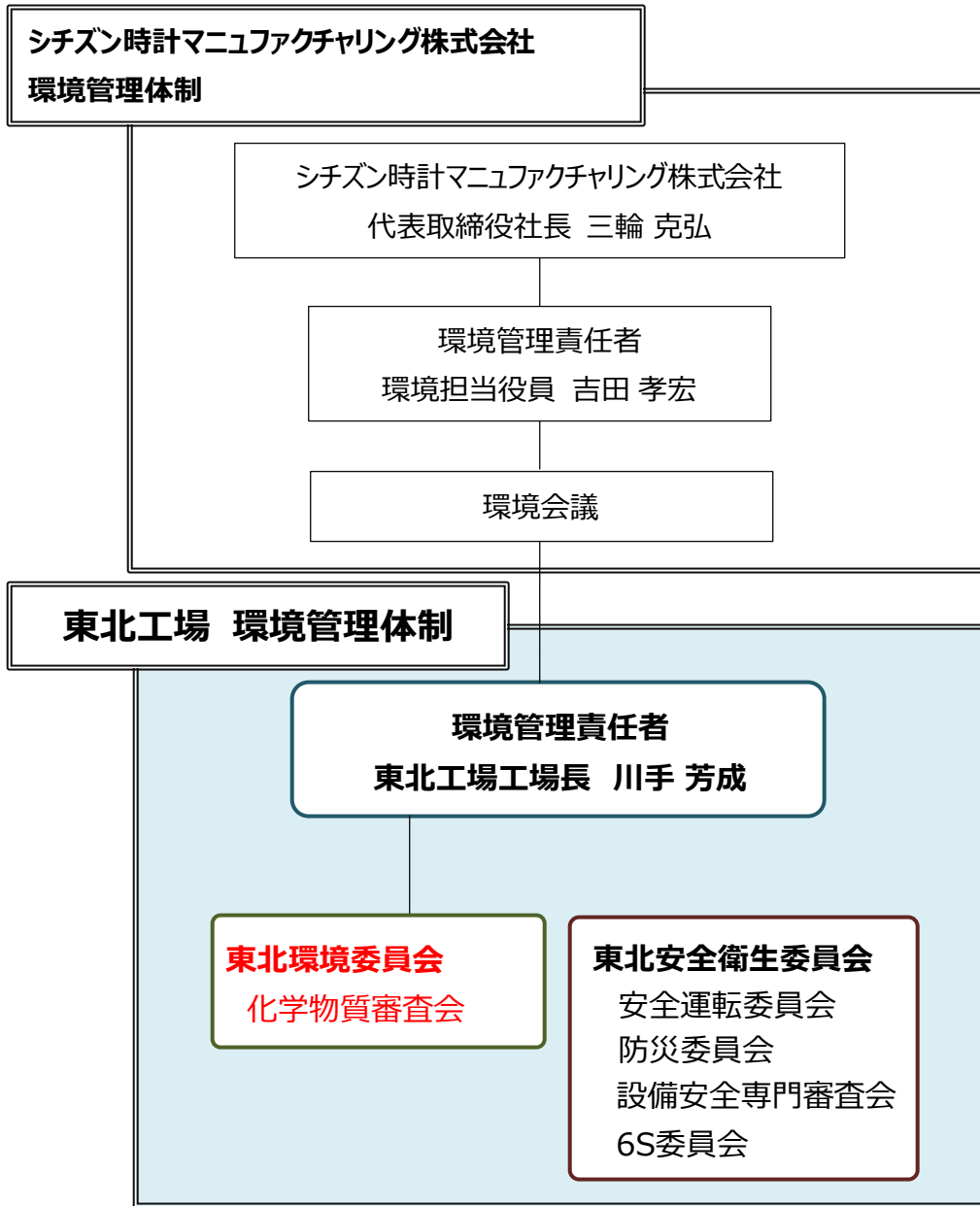
シチズン時計マニュファクチャリング株式会社

代表取締役社長 三輪 克弘

2023年 4月1日



3. 環境管理体制



※朱書きが環境活動に関わる委員会

【 主な業務 】

- ◆ 東北環境委員会
 - ・ 環境に関する工場全体の管理及び各分科会、委員会の統括
 - ・ 本社及びシチズングループの方針の展開と管理
 - ・ 省エネルギー活動の推進と使用エネルギーの管理
- ◆ 化学物質審査会
 - ・ 化学物質登録及び廃止管理
 - ・ 保管場所の管理
 - ・ SDS更新 など

4. 環境目標

環境目標は毎年見直しが行われ、目標達成に向けて取り組んでいます。
 環境目標はシチズングループ全体の目標「シチズングループ環境目標2030」でCO2削減、取水量削減など2030年までの削減目標が決められており、その目標達成に向けて取り組みを継続しています。

シチズングループ環境目標2030（抜粋）		※削減目標は2018年度比
温室効果ガス排出量	スコープ1、2 スコープ3 省エネ比率	50.4%削減 カテゴリ1+カテゴリ11 30%削減 62%（国内）
持続可能な資源の利用の推進	再資源化率 取水量	90%（国内） 35%削減

東北工場環境目標（抜粋）		※削減目標は2018年度比
地球温暖化対策の推進	CO2排出量削減	29.3% 削減
持続可能な資源の利用促進	取水量削減	17.6% 削減
	再資源化率	100%

【2023年度活動結果】

活動内容	目標値	結果
CO2排出量削減	29.3% 削減	28.1% 削減
取水量削減	17.6% 削減	19.0% 削減
再資源化率	100%	99.7%

2023年度はほぼ目標通りの結果となりましたが、目標を達成できた項目は取水量のみとなりました。

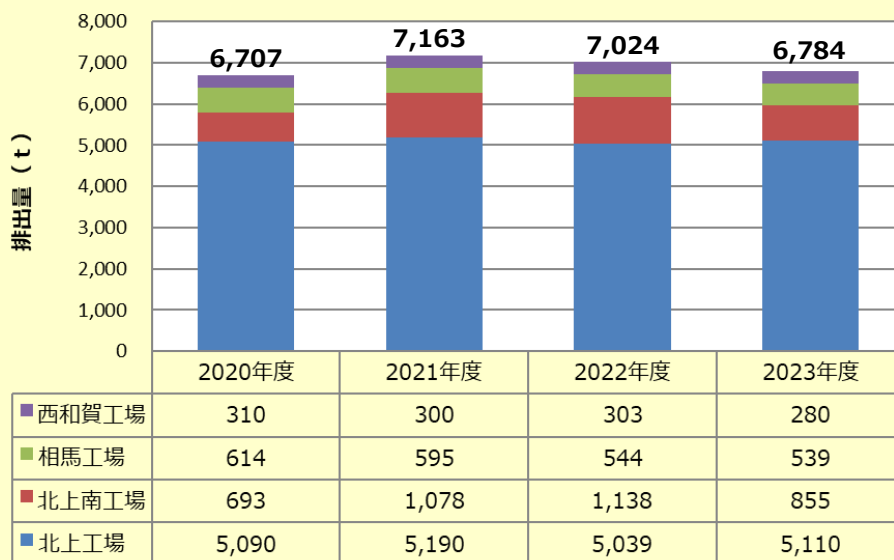
CO2排出量は電力による排出が大きな割合を占めますが、生産に大きく左右されるため、削減活動は継続して実施しましたが、目標達成には至りませんでした。

再資源化率は、まだ再資源化できない廃棄物が不定期に排出されるため100%は達成できていない状況です。

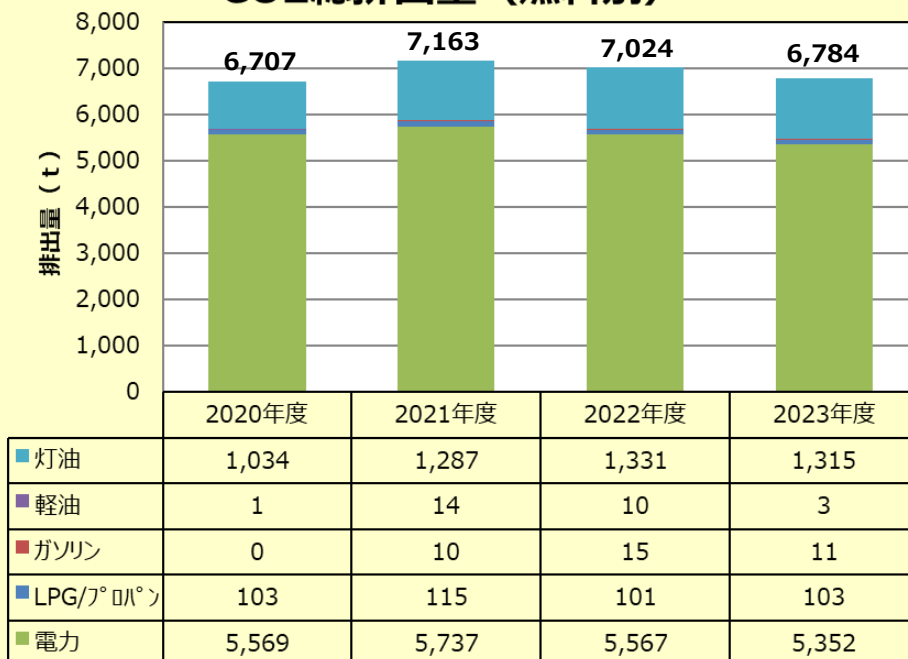
5. 地球温暖化ガス排出実績

CO2は地球温暖化に及ぼす影響がもっとも大きな温室効果ガスです。そのため、削減目標を毎年定めて取組みを行っています。

CO2総排出量(工場別)



CO2総排出量(燃料別)



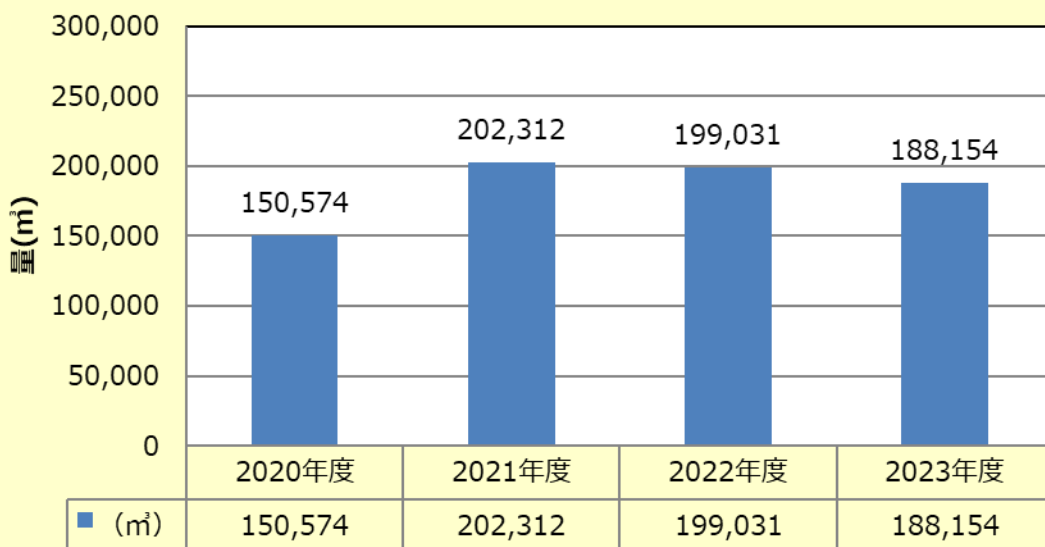
※2022年度より電力のCO2換算係数をシチズングループ係数からマーケット基準へ変更

6. 工業用水使用量および排水量実績

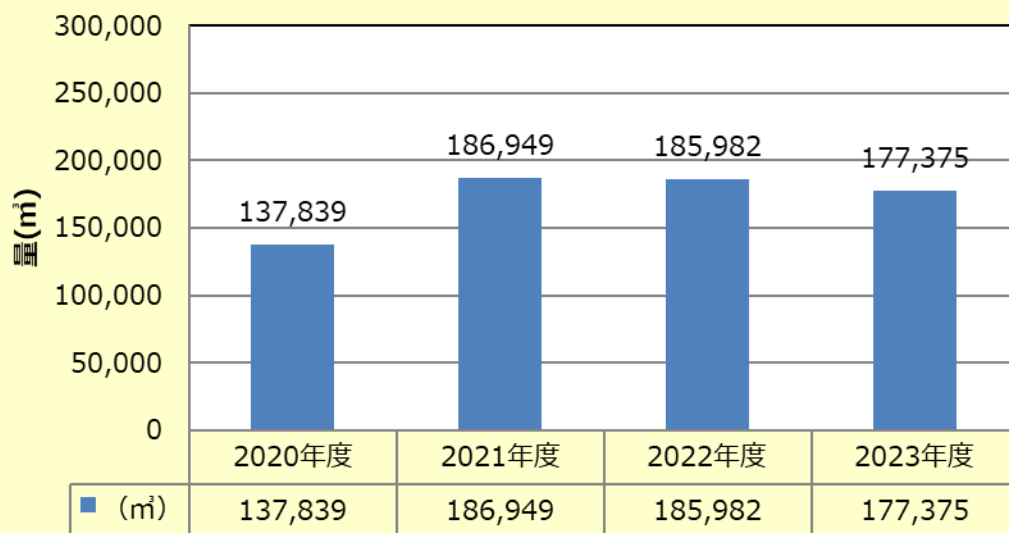
2004年4月に排水処理棟が東北北上工場に建てられました。日々排出される廃水を処理しています。

北上工場は、腕時計用の部品や針、ケースなどにメッキを行う工程があるため、社内でも水の使用量が多い工場となっています。

工業用水使用量

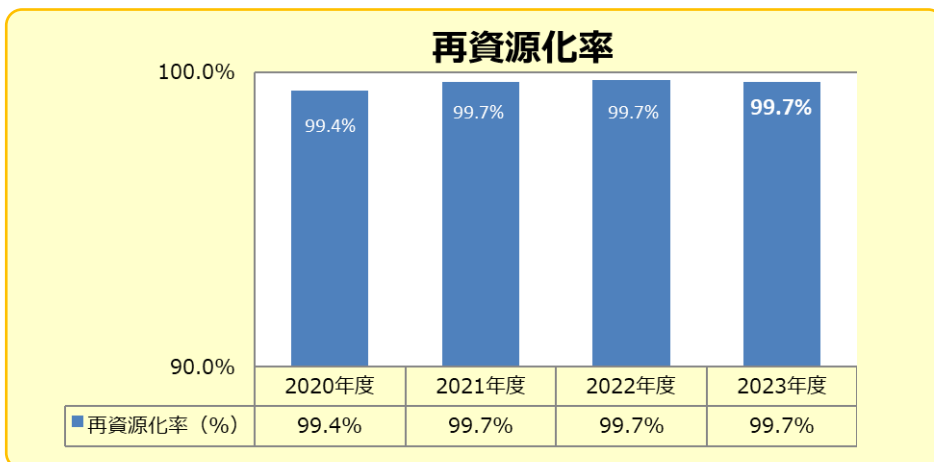
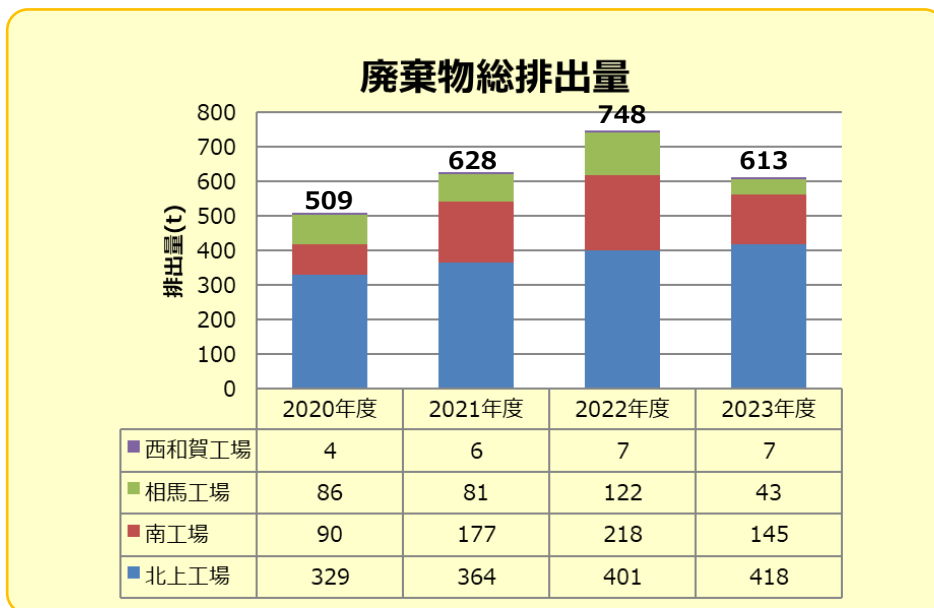


排水量

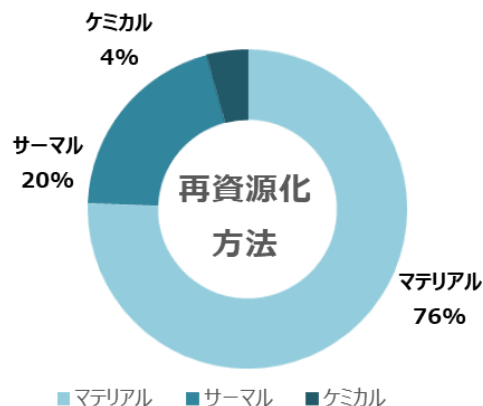


7. 廃棄物排出実績

東北工場から排出された廃棄物はほぼ100%再資源化されています。
 材料の端材などは有価買取されているため、マテリアルリサイクルの割合が大きくなっています。



- **マテリアルリサイクル 76%**
 …廃棄物を製品原料として再利用するリサイクル
- **サーマルリサイクル 20%**
 …廃棄物を燃やした熱を再利用するリサイクル
- **ケミカルリサイクル 4%**
 …使用済みの資源を化学的に分解し、原料に変えてリサイクル

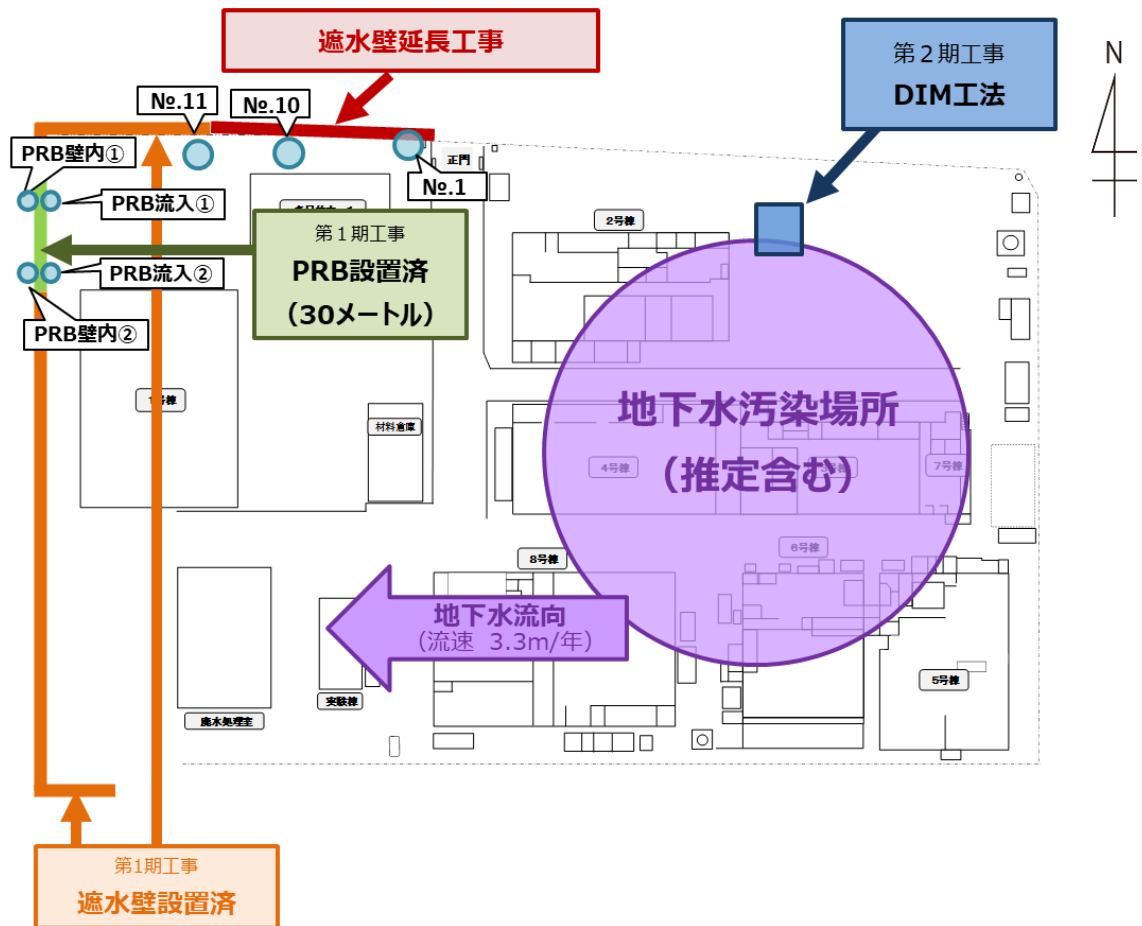


8. 土壌汚染概要と対策

【 2006年汚染状況 】

2006年に土壌汚染調査を実施した際、基準値を大きく超える結果が出ました。(1,1-ジクロロエチレン：12倍、トリクロロエチレン：18倍)
2007年から、拡散防止対策を講じています。第一期工事として遮水壁・PRB設置、第二期工事は2009年に特に汚染のひどい箇所にDIM工法を行っています。
その後も、年4回のモニタリングを実施し、汚染対策を継続しています。

【 土壌汚染源および対策箇所 】



【 対策強化実施 】

2017年度、No.1観測井で基準値超過があり、拡散防止対策としてバイオを注入し基準値以下に押さえ込みました。地下水の流れから、No.1の西側への影響を懸念し観測井No.10とNo.11を新設しモニタリングを実施した結果、どちらの井戸でも基準値超過が見られ、この結果を北上市へ報告をしました。そこで、2020年3月から遮水壁延長工事を行い、6月に完了しました。

これにより、敷地外への流出を完全に防ぐことができますので、No.11観測井のモニタリングは年に1度継続実施し、動向を注視していきます。

【 工法説明 】

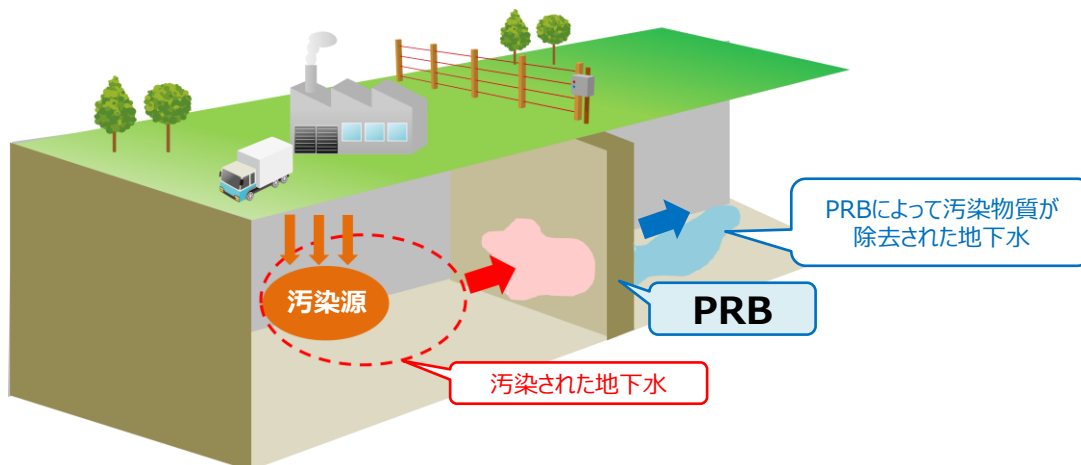
■ DIM工法 (2008年12月)

土壌浄化用鉄粉を地中で汚染土壌と混合し、汚染物質である1,1-ジクロロエチレンやトリクロロエチレンなどを分解する浄化技術。汚染物質が多く見られた地点、10m四方で施工。



■ PRB設置 (2008年4月)

地下水の自然流下を利用して汚染地下水を待ち受け、金属鉄粉により汚染物質である1,1-ジクロロエチレンやトリクロロエチレンなどを分解させる。地下水流向下流に30mに渡り施工。



■ 遮水壁延長工事 (2020年6月)

鋼矢板により地下水の外部への流出を防ぐ工事。

1号棟建設時に北側に設置していた遮水壁を、汚染物質の外部への流出押さえこみ強化を目的に延長。

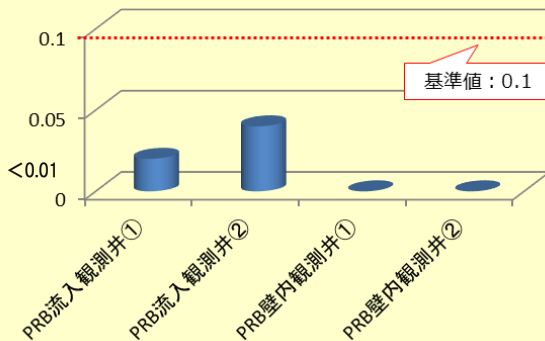


【対策後の数値】

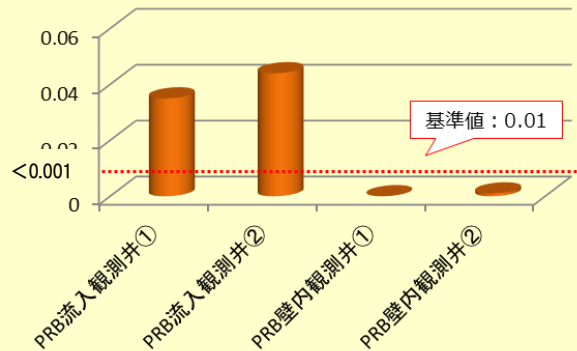
PRB流入側の観測井ではどちらも高い数値となっていますが、PRB壁の効果により、PRB壁内の観測井では測定下限値以下となっています。PRB設置後のモニタリングでは、基準値を超えたことはありません。

【2025年2月 測定結果（抜粋）】

1,1-ジクロロエチレン

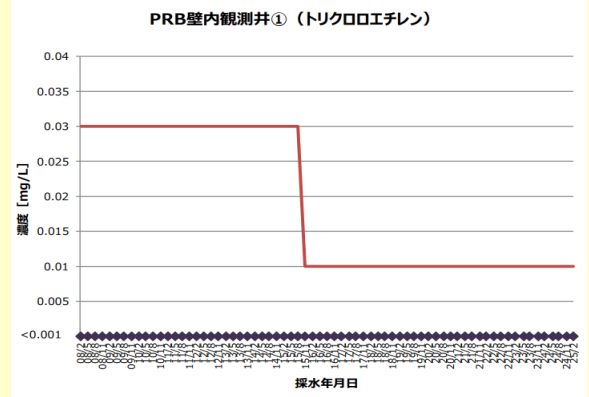
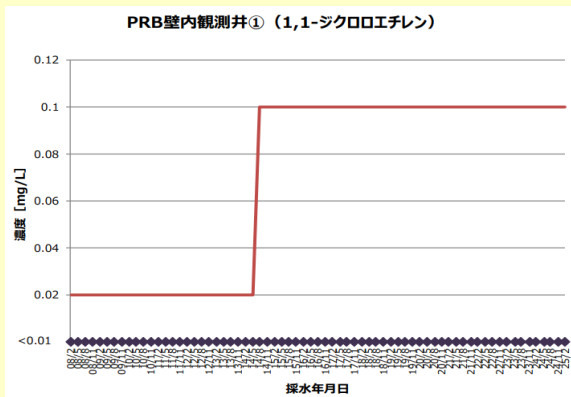


トリクロロエチレン

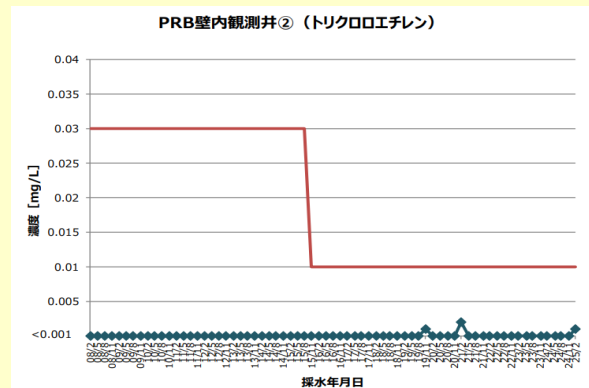
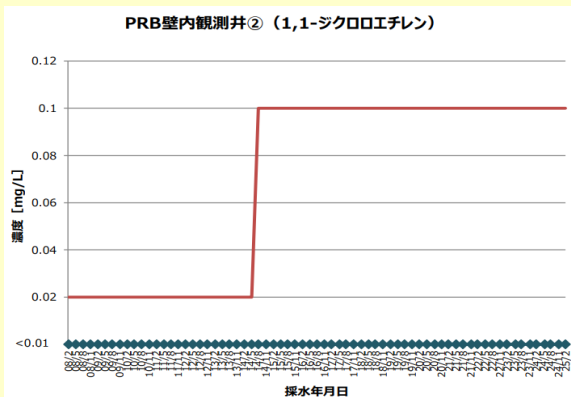


【PRB壁内観測井 モニタリング結果の変動（2008年2月～）】

■ PRB壁内観測井①



■ PRB壁内観測井②



【 環境報告書に関するお問合せ先 】

シチズン時計マニュファクチャリング株式会社
東北北上工場 東北総務課

TEL : 0197-66-2301 / FAX : 0197-66-4173